

政策形成実践研修を実施しています！

◇政策形成実践研修 令和3年6月18日～11月18日（インターバル実施）

講師：関東学院大学法学部 地域創生学科 准教授 牧瀬 稔 氏

本研修は、今年で5回目を迎えます。今年度はモデル団体を「摂津市」にお願いし、同市への政策提言に向け、日々研修・協議を重ねています。

第1回（6/18）は、摂津市役所にて牧瀬講師より講義をいただいた後、森山市長より講話を、湯原政策推進課参事、古賀広報課長より摂津市の概要説明をいただきました。午後からはフィールドワークを実施し、摂津市の特徴や課題などを確認しました。



写真前列右から：マッセ OSAKA 林所長、牧瀬講師、森山市長、その他研修受講者の皆さま

その後2回のチーム会を経て、第4回（8/24）には講師より地方創生や政策づくりについて講義をいただきました。

今年度は新型コロナウイルスの影響で日程の延期やオンラインでの開催を余儀なくされたりと困難も多い中、受講者の皆さんは政策提言に向け着々と準備を進めています。11月18日の政策提言プレゼンテーションに向け、乞うご期待！



チーム会の様子



オンライン講義の様子

（いぬい） 夏休みにテレビで見た東京五輪での西矢椋さんの活躍、勝手に「同郷の誇り」と少し自慢気です。最近はStayHomeで図書館に行く機会も増え、色々な言葉に触れます。「治世は大徳を以ってし、小恵を以てせず」、「施し情は人の為ならず おのがこころの慰めと知れ 我れ人にかけし恵は忘れても ひとの恩をば長く忘るな」という格言もその一例。あの10万円は徳ある行いだったのか？ ただの情けか？ ワクチンもそう。人々はこれを恩と感じ後世に語り継ぐだろうか？ 行政も政治も本能的に人の命を守り、生活に安寧を、そして未来に繋ぐ一心で考え行動したけど…。私は様々な制約の中に同じだけ気づきもありました。StayHome故の東京五輪観戦でスポーツやアスリートが与える勇気や感動そして多様性も知りました。コロナを通して命の尊さや面と向かって会話できる喜びも。「見えてる世界が全てじゃない」これはゲゲゲの～の最終話でしたっけ？ お彼岸記す今日この頃。ご先祖様と世界平和を祈り、合掌。

（ながまち） 1年以上ぶりのつぶやきです。前回のつぶやきを書いたのが今年の4月、マッセに派遣されてすぐのタイミングでした。そのとき「コロナで出鼻をくじかれた」と書いたのですがそれから早や1年、度重なる緊急事態宣言と共に泡と消える出張の数々。現在も鼻をくじかれ続けています。ただ悪いことだけではなく、こんな時期だからこそオンライン研修などマッセの新たなチャレンジに携わることができて光栄にも思います。長町です。

新しいことと言えば、派遣元ごとで恐縮ですが5月に我が柏原市は晴れて新庁舎に移転をしました。めちゃくちゃキレイです！しかし、たまに市役所に行くとなれない風景のせいか全く落ち着かず、謎のアウェイ感があるのが寂しいところです。他にも色々書きたいことはありますが、とりあえずこれを書いている今日久方ぶりにaikoのライブに行ってきます！長町はaikoとボルノグラフィティが大好きです！話の合う方はぜひお声がけを！では！合掌！

今号は
いぬい＆
ながまち
です。

★★★
スタッフの
つぶやき
Vol.28

